

コード No. 17-NPF-004

提出日：2017 年 10 月 26 日

平成 29 年（2017 年）度「第 6 回 CENA 夏季学校」報告書

公益財団法人早稲田奉仕園

片岡平和

1. プログラムの目的

多宗教・多文化の背景を持つアジア各地の若者が集い、共同生活と学びを通じて多様な価値観に触れ、平和構築について考え、実践する。今回のテーマは「ナショナリズム、軍国主義、グローバル化を越えて、地域コミュニティを通じたアジアにおける平和構築」。会場はインドネシアのジョグジャカルタにあるインドネシア・イスラーム大学、そして地元住民が共同で作ったケンバング・アルム観光村。8月3日から10日まで、プログラムを実施する。

CENA（Civil Society Education Network in Asia）夏季学校は2012年から毎年継続しており、今回は6大学と2つの教育団体が共催する（日本からは早稲田奉仕園、恵泉女学園大学、聖心女子大学、韓国からは聖公会大学校と韓神大学校、台湾からは世新大学、タイからはアジアイスラーム教徒活動ネットワーク AMAN、そして今回のホストを務めるインドネシア・イスラーム大学 UII）。

2. 主な活動内容・スケジュール 2017年8月3日(木)~10日(木)

8月3日	羽田空港国際線ターミナルで待合せ。ジャカルタ経由ジョグジャカルタ到着。出迎え、宿舎へ移動、就寝
8月4日	午前：インドネシア・イスラーム大学（UII）へ移動。ナンダング・ストリスノ学長の開講宣言 聖公会大学 キム・ドンチュン教授の基調講演。教員3名によるプレゼンテーション。 学内見学 午後：宿舎で小グループ作り、キャンプファイアー
8月5日	午前：教員2名によるプレゼンテーション 午後：国別学生8グループによるプレゼンテーション 夜：小グループ活動。教職員はCENA運営会議
8月6日	午前：広島原爆投下を憶えて黙祷。村内清掃活動。コミュニティリーダー2名による発表 午後：ムハマディアのリーダーによる講演。レクリエーション 夜：小グループによる発表、カルチャーナイト
8月7日	午前：ボロブドゥール寺院遺跡見学 午後：ムンドゥット寺院にて僧侶の講話。マリオボロにて自由時間
8月8日	午前：全体会、振り返り 午後：ブルデブルグ要塞博物館見学 夜：プランバナン寺院を背景にラーマヤナ演劇鑑賞
8月9日	午前：スルタン宮殿見学

	午後：プランバナン寺院見学。ジョグジャカルタ空港へ移動、飛行機搭乗
8月10日	羽田空港着、解散

3. 助成を受けた活動の報告（様子がわかる写真等があれば貼付してください）

参加者はアジアの11ヶ国から計52名(41名の大学生と大学院生、教職員11名)となった。今回は開会式だけをUIIのキャンパスで行い、それ以外のプログラムは地元住民が共同で作ったケンバング・アルム観光村を会場とした。住民の生活様式に極めて近いスタイルで寝泊まりし、共に食卓を囲み、講義で共に学び、村を流れる川や広場で様々なリクレーションを楽しむことができた。平和構築について机の上で学ぶだけではなく、共同生活を通して多様な背景を持つ若者同士が出会い、互いを尊重し、共生していくという実践ができた。

インドネシアの古都ジョグジャカルタでプログラムを開催したことも重要だった。仏教遺跡のボロブドゥール、ヒンドゥー教遺跡のプランバナン、スルタン王宮等の見学やラーマヤナ劇を鑑賞した。観光も東南アジア一帯が仏教、ヒンドゥー教、イスラーム教に歴史的な影響を受けてきたことを学ぶ機会となった。



開会式を行なった UII にて集合写真

4. 活動の成果（成果物などがありましたらご紹介ください）

別冊の報告書及びPDF ファイル

聖心女子大学ウェブサイトより報告記事

<https://www.u-sacred-heart.ac.jp/topics/2017/170810.html>

5. 今後の課題

現在、CENA は各地の大学・教育団体の教職員が運営を担っている。特定の場に事務局の機能があるわけではないため、毎年の開催地のホストに負担がかかっている。E メールでの定期的な連絡や年数回、教員が顔を合わせて打ち合わせをし、スカイプミーティングでプログラムの詳細を詰めている。今回の夏季学校の期間中に非公開の Facebook グループを立ち上げ、過去 5 回の夏季学校参加者も含めて、参加者同士のコミュニケーションの場を確保しようと努めている。

平成29年(2017年)度会計報告書

被助成者:(公財)早稲田奉仕園 片岡平和



コード番号:17-NPF-004

(単位:円)

<収入の部>

項目	予算	決算	備考
1. 助成金	370,000	370,000	
2. 預金利息	0	0	
合計	370,000	370,000	

<支出の部>

費目	予算	決算	内訳・備考
1. 人件費			
2. 旅費			
3. 機械・器具 備品費/文献費			
4. 研究委託費			
5. 会議費	30,000	6,954	事前・事後学習のため
6. 資料費	20,000	0	事前・事後学習のため
7. 印刷・複写費	20,000	65,770	報告書作成のため
8. 交通・通信費	150,000	150,000	インドネシア国内移動費
9. 消耗品費			
10. 雑費			
合計	370,000	372,724	不足分は早稲田奉仕園から支出

(2017年4月～2017年9月15日)

助成金収支明細書

[illegible]